

第三者委員会議記録簿 平成17年度上半期

社会福祉法人・春生会

施設長	兒玉 邦彦	出席者	第三者委員	菊池 フユ	岡 清子	司会者	兒玉 邦彦
			保育主任	後藤 礼子		記録者	中園 理恵
			通所主任	杉田 道子			
			訪問主任	志水 とも子			
開催場所	施設長室						
開催日時	平成 17 年 5 月 31 日(火) 13 時 30 分 ~ 15 時 10 分						
議題							
1.17年度にあたり自己紹介							
2.各部門より苦情についての報告(H16.7.13以降)							
3.報告内容について協議							
各部門報告内容							
<p>保育主任 ・「秋祭りは、思ったほどではなく期待外れだった」と連絡帳に記入してあった。また、同じ保護者より「子どもがロッカーより衣服を取り出し、いつもロッカーがきたないのでなんとかならないか」と申し出があった。 ・2歳児クラスから以上児クラスへ年度途中での進級は転園も考えるとの申し出があった。 ・遠足場所がわからないとの申し出あり。</p> <p>通所主任 ・春生倶楽部・・・H16.7.31(相談) 送迎の時間帯の調整をしてほしい。 H16.8.4(問い合わせ)</p> <p>補聴器を忘れたので探してほしいと家族より問い合わせ。 H16.10.24(相談) 春生会の運動会での状況報告をしてほしかった。 ・国富倶楽部・・・特になし。 ・希望山荘・・・特になし。</p> <p>訪問主任 ・訪問介護・・・認知症の利用者より「風呂敷に包んだ着物がなくなった」との申し出あり。</p> <p>・配食サービス・・・愚痴のような内容。 ・国富ホームヘルプ・・・ヘルパーキャンセルの手違いあり。</p> <p>・ケアプラン・・・特になし。</p>							
その他							
協議内容							
<p>保育部門・・・連絡帳や口頭での苦情や相談などがあがってくるが、各クラスの担任で対応できる内容である。最近は、減少傾向にある。上記の件は担任からの説明により、ほぼ理解を得ることができた。</p> <p>通所部門・・・内容に応じて、家族や本人に検討した結果を丁寧に伝たり、自宅訪問をしたりして理解を得ている。</p> <p>訪問部門・・・訪問介護の件については、担当者会議を開き検討。認知症であることは家族も認めている。家族との話し合いをもつことで解決へとつなげていく。</p> <p>* 苦情か相談かの区別については、まず、最初の窓口担当者で話し合い、主任までもっていけば苦情として取り扱うことにする。</p> <p>* 苦情に対しては、素早い対応、直接会って話すことが大切。</p>							
特記事項							
<p>・個人情報について</p> <p>保育園では4月の親子遠足の際、春生会だよりを例にあげ、個人情報について、保護者に話しをする。</p> <p>個人情報保護法についての内容を掲示しておくといのでは。</p>							